

第46回 日本看護学会—看護管理—学術集会 抄 録 集

と き：2015年9月8日（火）・9日（水）
と ころ：福岡国際会議場／福岡サンパレス
学術集会会長：花岡 夏子

あ い さ つ

第 46 回日本看護学会—看護管理—学術集会

会 長 花岡 夏子

この度、第 46 回日本看護学会—看護管理—学術集会を九州の玄関口福岡で開催する運びとなり、大変嬉しく思っております。ご尽力いただきました関係者の皆様、ならびにご参加の皆様にご心よりお礼を申し上げます。

現在日本は少子超高齢社会を迎え、医療提供体制の再編時代に突入し、さまざまな社会保障制度改革が進められています。この様な中、看護管理者は、日本が戦後約 70 年の間に経験したことのない、新しい医療サービスマネジメントに挑戦する覚悟が問われていると思います。本学術集会ではテーマを、『未来を創る』とし、これからの新しい時代の基盤整備に看護管理者の果たすべき役割を表すキーワードとしました。

また、看護管理者は、医療環境の変化に柔軟に対応し、経営改善や様々な責務が課され、ともすれば疲弊しがちです。そのような状況の中、看護管理者自らがわくわくし、生き活きと働くことは、スタッフのモチベーション向上にもつながります。本学術集会が、看護の強みを生かしながら、ピンチをチャンスに変えていけるような学びの場となることを期待し、サブテーマを「わくわくする看護マネジメント」とし、参加者が元気になれる学術集会をめざし企画しております。

特別講演は 2 テーマ、田中ウルヴェ京氏 1988 年ソウル五輪シンクロナイズスイミング銅メダリスト、青柳俊彦氏九州旅客鉄道株式会社代表取締役社長にお願いしました。

田中ウルヴェ京氏は現在メンタルトレーナー等、多岐に渡り活躍し続けている方で、ご講演は女性として人生を豊かにする生き方、仕事への向き合い方などについて考え、大いに勇気や元気を得ることができると確信しています。青柳俊彦氏は鉄道事業本部長を務める鉄道のエキスパートで、安全推進部長などを歴任され、「彼なしで今の九州の鉄道は語れない。」と言われているほどの方です。JR 九州がななつ星観光列車を成功させた一連の経験談をもとに、看護管理者が挑戦することの大切さを考える機会にしたいと思いません。

福岡はアクセスが良く新鮮な魚・ラーメンや明太子・もつ鍋等食べ物もおいしくいただけます。また黒田官兵衛のゆかりの地でもあります。是非たくさんの方に福岡へおいでいただき大いに楽しみ大いに学んで、看護管理の質を高めることができるよう祈念しております。

第46回 日本看護学会—看護管理—学術集会

学術集会テーマ：未来を創る～わくわくする看護マネジメント～

第1日 平成27年9月8日(火) 福岡県／福岡国際会議場・福岡サンパレス

	第1会場 福岡サンパレス/1F メインホール	第2会場 福岡サンパレス/2F パレスルーム	第3会場 福岡国際会議場/3F メインホール	第4会場 福岡国際会議場/4F 401～403	第5会場 福岡国際会議場/4F 404～406	第6会場 福岡国際会議場/4F 409～410	第7会場 福岡国際会議場/4F 411～412	第8会場 福岡国際会議場/4F 413～414	第9会場 福岡国際会議場/5F 501	福岡国際会議場/4F 第4会場隣
収容定員(人)	2316	430	1000	160	160	230	230	230	420	
	講演	講演	講演	講演/ 口演発表	講演/ 口演発表	講演/ 口演発表	講演/ 口演発表	講演/ 口演発表	示説発表	文献検索 相談
9:00										
	9:15～9:30 オリエンテーション									
10:00	9:30～10:00 開会式	9:30～10:00 開会式放映	9:30～10:00 開会式放映						9:30～10:00 第18～21群 掲示	
11:00	10:10～11:10 特別講演Ⅰ 夢を実現させるためのヒント～強く逞しく、そして美しく！キラキラ輝く管理者であるために～	10:10～11:10 特別講演Ⅰ 放映 夢を実現させるためのヒント～強く逞しく、そして美しく！キラキラ輝く管理者であるために～	10:10～11:10 特別講演Ⅰ 放映 夢を実現させるためのヒント～強く逞しく、そして美しく！キラキラ輝く管理者であるために～							
12:00	11:25～11:55 文化交流セッション	福岡から看護管理者へ～未来を創るための応援打～		11:20～12:20 口演 第1群 看護提供システムⅠ	11:20～12:20 口演 第4群 人的資源管理(看護スタッフ)Ⅰ	11:20～12:20 口演 第8群 ワークライフバランスⅠ	11:20～12:20 交流集会Ⅰ 看護職セカンドキャリアの活用	11:20～12:20 交流セッションⅠ 事例に学ぶ！産科混合病棟ユニットマネジメント	11:10～12:10 示説 第18～21群	
13:00		12:30～13:30 ランチョンセミナー1 吉本新喜劇から学ぶコミュニケーション 共催：ニプロ㈱		12:30～13:30 ランチョンセミナー2 良質な睡眠は人を育てる 共催：東洋羽毛九州販売㈱	12:30～13:30 ランチョンセミナー3 地域包括ケアシステムにおける排泄ケアの連携 共催：ユニ・チャームメンリッケ㈱	12:30～13:30 ランチョンセミナー4 更年期女性のQOL～女性ホルモンと代替医療～ 共催：大塚製薬㈱	12:30～13:30 交流セッションⅡ(ランチョンセミナー5) DINQL事業を活用した看護管理 共催：編メディア出版	12:30～13:30 ランチョンセミナー6 病院設備から考える感染対策と看護業務改善 共催：Vernacare Limited.	12:10～12:40 第18～21群 撤去	
14:00	13:30～14:30 教育講演Ⅰ これからの地域医療を考える～DPC導入の意図と今後の活用の方向性～			13:30～14:30 口演 第2群 看護サービス管理Ⅰ	13:30～14:30 口演 第5群 人的資源管理(看護スタッフ)Ⅱ	13:30～14:30 口演 第9群 人的資源管理(人材育成)Ⅰ	13:30～14:30 口演 第12群 医療安全対策とマネジメントⅠ	13:30～14:30 口演 第15群 看護サービス管理Ⅱ	13:00～13:30 第22～25群 掲示	
15:00	14:40～16:10 シンポジウムⅠ 地域包括ケアの時代～安心して生活できるための在宅支援～		14:40～16:30 シンポジウムⅡ 医療機能分化と連携～平成26年度診療報酬改定「地域包括ケア病棟」のとりくみ～	14:30～15:30 口演 第3群 人的資源管理(看護管理者)Ⅰ	14:30～15:30 口演 第6群 医療安全対策とマネジメントⅡ	14:30～15:30 口演 第10群 看護提供システムⅡ	14:30～15:30 口演 第13群 看護サービス管理Ⅲ	14:30～15:30 口演 第16群 人的資源管理(看護スタッフ)Ⅲ	13:30～14:30 示説 第22～25群	14:00～15:00 文献 検索 相談
16:00				15:30～16:30 論文作成支援講座 論文作成のポイントと倫理的配慮/文献検索の基礎知識	15:30～16:30 口演 第7群 人的資源管理(スペシャリスト)	15:30～16:30 口演 第11群 看護サービス管理Ⅳ	15:30～16:30 口演 第14群 ヘルスマネジメントⅠ	15:30～16:30 口演 第17群 チーム医療、多職種連携Ⅰ	15:30～16:00 第22～25群 撤去	
16:30										

第2日 平成27年9月9日(水) 福岡県／福岡国際会議場・福岡サンパレス

	第1会場 福岡サンパレス/1F メインホール	第2会場 福岡サンパレス/2F パレスルーム	第3会場 福岡国際会議場/3F メインホール	第4会場 福岡国際会議場/4F 401~403	第5会場 福岡国際会議場/4F 404~406	第6会場 福岡国際会議場/4F 409~410	第7会場 福岡国際会議場/4F 411~412	第8会場 福岡国際会議場/4F 413~414	第9会場 福岡国際会議場/5F 501
収容定員(人)	2316	430	1000	160	160	230	230	230	420
	講演	講演	講演/ 口演発表	講演/ 口演発表	講演/ 口演発表	講演/ 口演発表	講演/ 口演発表	講演/ 口演発表	示説発表
9:00			9:00~10:00 口演 第26群 看護提供 システムⅢ	9:00~10:00 口演 第27群 人的資源管理 (人材育成) Ⅱ	9:00~10:00 口演 第31群 看護サービス 管理Ⅴ	9:00~10:00 口演 第35群 医療安全対策と マネジメント Ⅲ	9:00~10:00 口演 第38群 ヘルス マネジメント Ⅱ	9:00~10:00 口演 第42群 ワークライフ バランスⅡ	9:30~10:00 第46~49群 掲示
10:00									
11:00	10:10~11:10 特別講演Ⅱ 付加価値の高い 新しいサービス への挑戦 ~JR九州がわくわ くする観光列車を 成功させて~	10:10~11:10 特別講演Ⅱ 放映 付加価値の高い 新しいサービス への挑戦 ~JR九州がわくわ くする観光列車を 成功させて~	10:10~11:10 特別講演Ⅱ 放映 付加価値の高い 新しいサービス への挑戦 ~JR九州がわくわ くする観光列車を 成功させて~						
12:00	11:20~12:20 教育講演Ⅱ 未来をつくる 看護師の役割拡大 ~特定行為研修 制度の創設に 期待すること~		11:20~12:20 交流集会 Ⅱ PNSを成功 させるためには	11:20~12:20 口演 第28群 人的資源管理 (看護スタッフ) Ⅳ	11:20~12:20 口演 第32群 人的資源管理 (看護スタッフ) Ⅴ	11:20~12:20 口演 第36群 医療安全対策と マネジメント Ⅳ	11:20~12:20 口演 第39群 看護サービス 管理Ⅵ	11:20~12:20 口演 第43群 災害時の管理	
13:00				12:30~13:30 ランチョン セミナー7 排泄ケアに おける業務効率 の改善 共催:ユニ・ チャーム㈱	12:30~13:30 ランチョン セミナー8 看護師e-ラーニ ング学習の深化 と拡大 共催:㈱ホギ メディカル	12:30~13:30 交流セッションⅢ (ランチョン セミナー9) これから始まる 看護職の届出制度 ~みんなの疑問に 答えます~ 共催:一般社団法人日本医 療機器テクノロジー協会	12:30~13:30 交流セッションⅣ (ランチョン セミナー10) 医療事故調査制度にお ける看護管理者の役割 ~医療・看護の安全の確 保につなげるために~ 共催:パラマウント ベッド㈱	12:30~13:30 ランチョン セミナー11 看護業務効率化 のための自律搬送 ロボットHOSPIの 導入計画 共催:テルモ㈱	
14:00	14:00~15:30 シンポジウム Ⅲ 看護マネジメント の領域拡大 ~特定行為研修 制度の活用~		13:30~14:30 交流集会 Ⅲ 超高齢者の End of Life Care	13:30~14:30 口演 第29群 人的資源管理 (看護スタッフ) Ⅵ	13:30~14:30 口演 第33群 医療安全対策と マネジメント Ⅴ	13:30~14:30 交流集会 Ⅳ 看護管理者のWLB ~看護管理者から 元気になる!~	13:30~14:30 口演 第40群 看護サービス 管理Ⅶ	13:30~14:30 口演 第44群 チーム医療、 多職種連携Ⅱ	13:30~14:30 示説 第46~49群
15:00				14:30~15:30 口演 第30群 人的資源管理 (看護スタッフ) Ⅶ	14:30~15:30 口演 第34群 職務満足	14:30~15:30 口演 第37群 看護サービス 管理Ⅷ	14:30~15:30 口演 第41群 看護サービス 管理Ⅸ	14:30~15:30 口演 第45群 人的資源管理 (看護管理者) Ⅱ	14:30~15:00 第46~49群 撤去
16:00	15:30~16:00 閉会式								
16:30									

交通案内



■電車でお越しの方（上記●が駅名称）

- ・地下鉄呉服駅より徒歩 12 分
- ・地下鉄中洲川端駅より徒歩 15 分
- ・西鉄天神駅より徒歩 22 分
- ・地下鉄天神駅より徒歩 22 分
- ・JR 博多駅より徒歩 27 分

■バスでお越しの方

出発地	乗車バス停・バス番号	時間	降車バス停
JR 博多駅 (博多口)	博多駅センタービル前Eのりば バス番号 99	約 12 分	【博多ふ頭行】 国際センターサンパレス前 (徒歩すぐ)
JR 博多駅 (博多口)	博多駅センタービル前Eのりば バス番号 88	約 12 分	【中央ふ頭行き】 国際会議場サンパレス前 (徒歩すぐ)
西鉄・地下鉄 天神駅	ソラリアステージ前 2A のりば バス番号 80	約 9 分	
地下鉄 呉服町駅	呉服町 (都市高速・蔵元方面) バス番号 88	約 7 分	

■タクシーご利用の方

- ・福岡空港から約 15 分
- ・博多駅から約 10 分
- ・天神から約 6 分

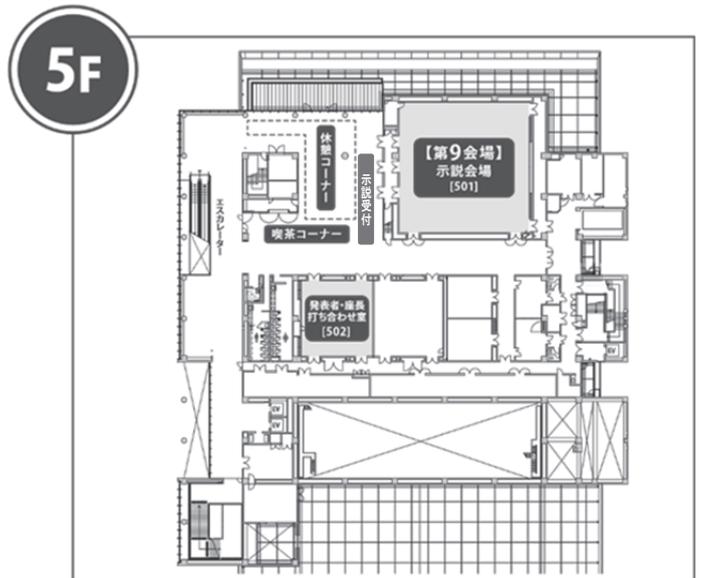
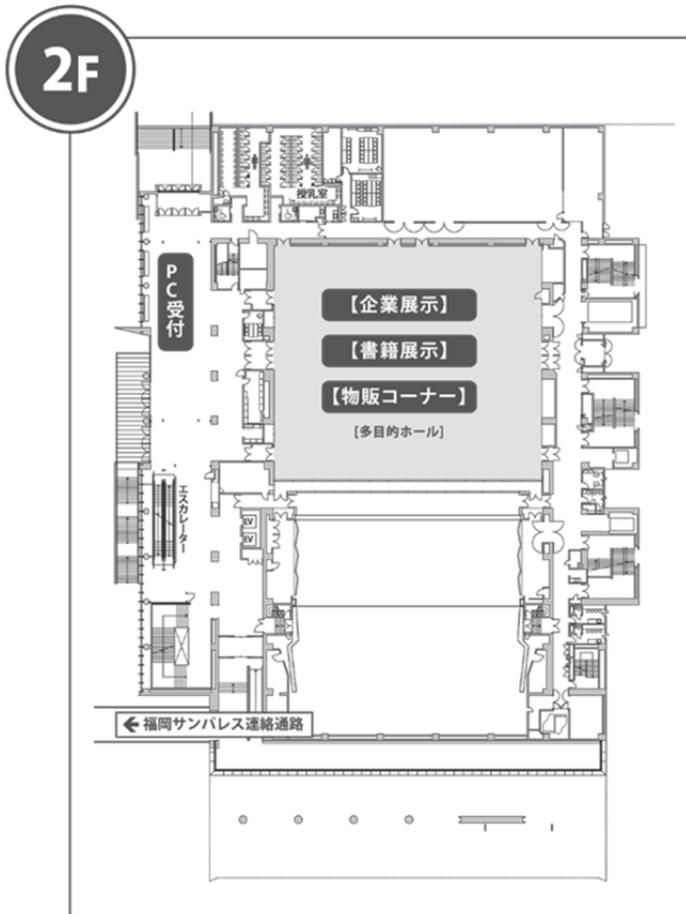
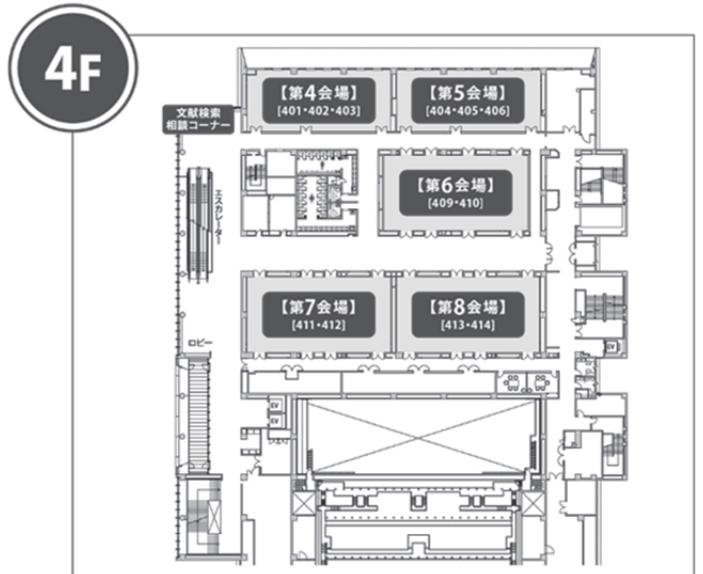
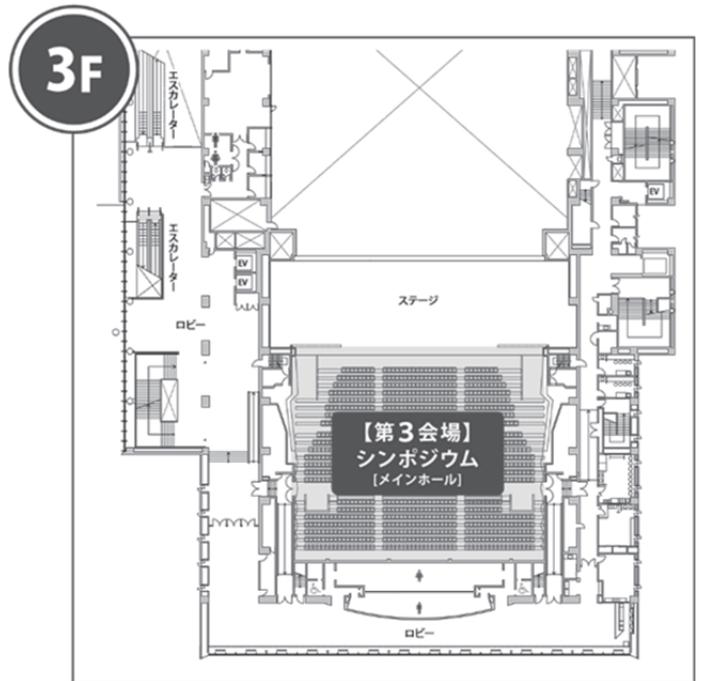
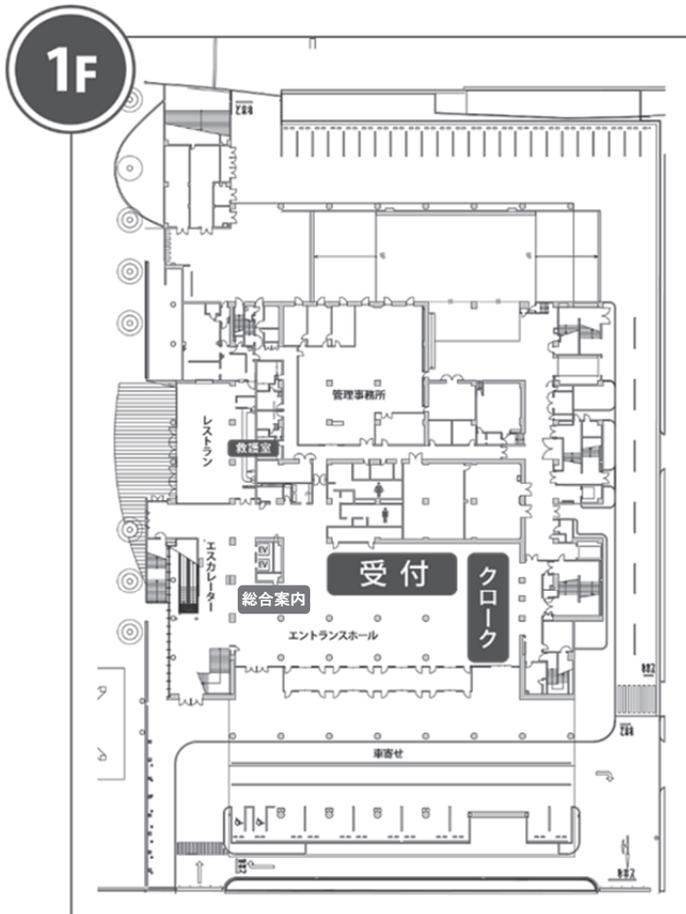
■車でお越しの方

- ・駐車場はありません。近隣の有料駐車場等をご利用ください。

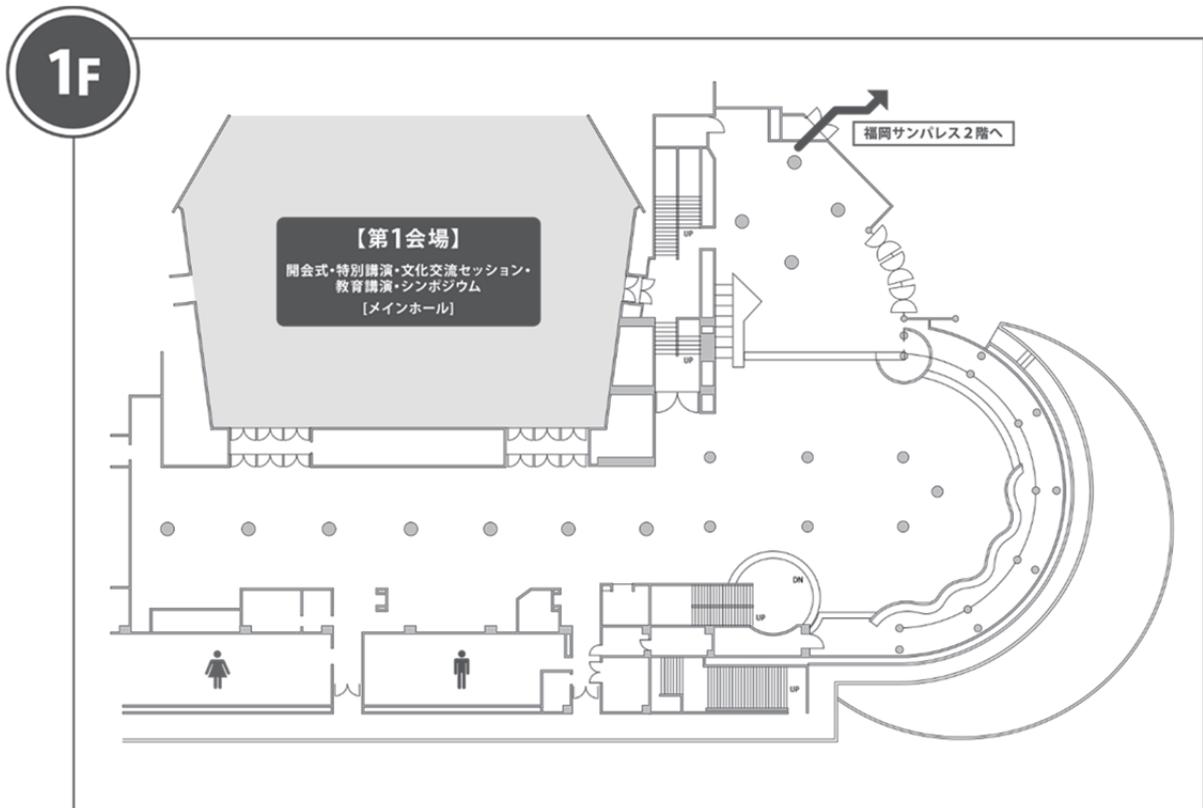
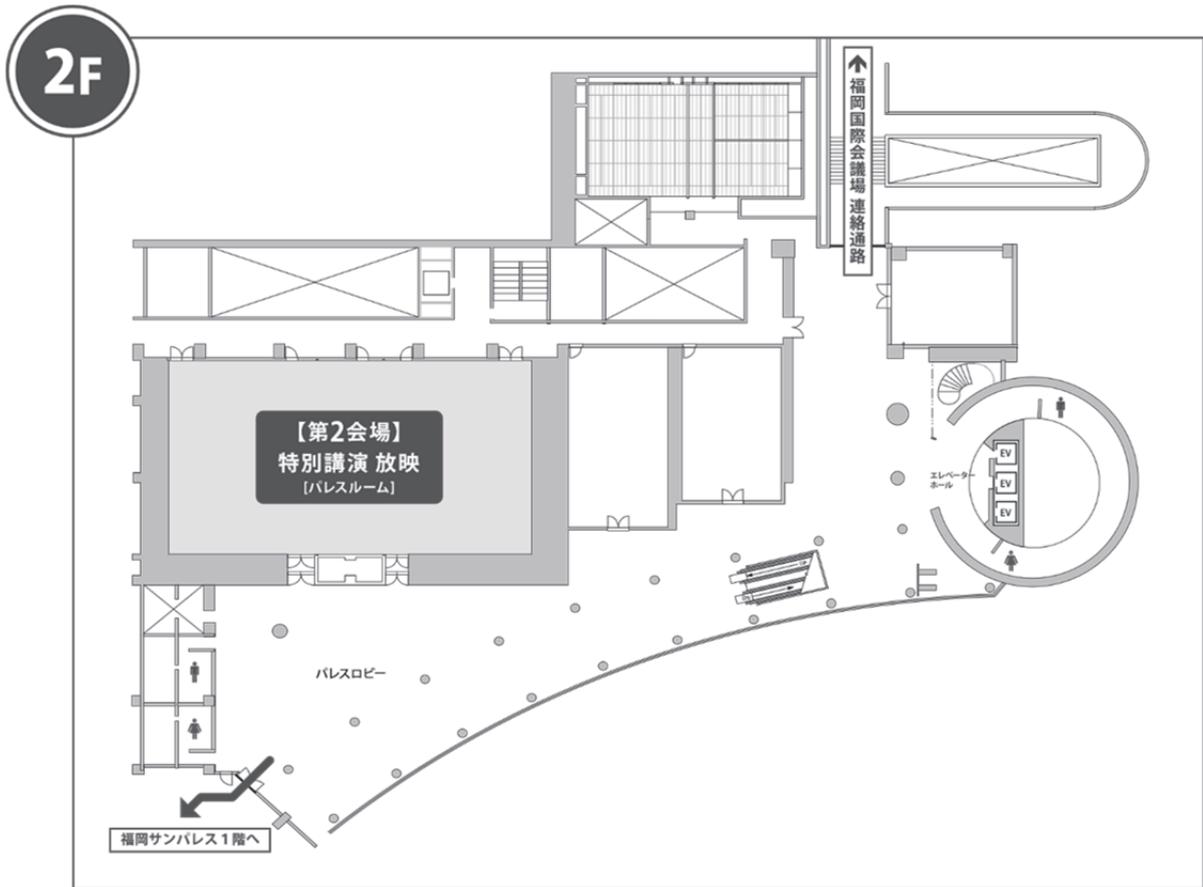
※福岡空港ご利用の方

- ・福岡空港ご利用の方は、地下鉄「博多駅」か「呉服町駅」までお越しいただいた後、上記交通手段をご利用ください。もしくは福岡空港からタクシーを会場までご利用ください。

会場案内図／福岡国際会議場 1F～5F



会場案内図／福岡サンパレス 1F・2F



オリエンテーション（参加者の皆様へ）

1. 受付について

- 1) 事前参加登録者の受付は、1日目・2日目共に8時00分から福岡国際会議場1階で行います。当日参加受付は、1日目・2日目共に9時00分より行います。
- 2) 参加者は、1日目・2日目の両日とも受付へ入場券を提出してください。
- 3) 開催中は必ずネームカードを着用してください。
- 4) ネームカードのない場合は再入場ができませんのでご了承ください。

2. 総合案内について

- 1) 総合案内及び掲示板は福岡国際会議場1階にあります。
- 2) 気分が悪くなった方は総合案内にお越しください。
- 3) 参加者の呼び出し・連絡は原則として行いません。緊急の場合に限り、講演会場内でお知らせしますので総合案内までお申し出ください。

3. 学術集会運営について

- 1) 各会場は、前から順にご着席ください。またできるだけ空席に荷物などは置かないでください。
- 2) 各プログラム5分前までにご着席ください。講演中および発表中はできるだけ席をお立ちにならないようお願いいたします。
- 3) 質問する場合は、お近くのマイクに進み司会者・座長の指示により施設名、氏名を述べてから簡潔明瞭に述べてください。
- 4) 交見室はないので、質問は各会場で活発にお願いいたします。
- 5) 会場内では、携帯電話の電源を切るか、マナーモードに設定してください。
- 6) 写真・ビデオ撮影・録音は禁じております。(特に示説会場での写真撮影はご遠慮ください。)ただし事前に主催者から撮影許可を得ている場合はこの限りではありません。

4. 昼食（お弁当）について（ランチョンセミナー弁当は除く）

- 1) 会場の近くには十分な数の飲食施設がないので、なるべくお弁当の予約をしてください。
- 2) お弁当の配布時間と場所はお弁当の券に記載しますので、お確かめ下さい。
- 3) 1日目・2日目共に第3会場（福岡国際会議場 3F メインホール）で飲食可能です。

5. ランチョンセミナーについて

- 1) ランチョンセミナーは学会ホームページからの申し込みとなっており、定員になり次第締め切ります。
- 2) ランチョンセミナーを事前に申込みしても、セミナー開始20分後までに入場しない場合はキャンセルとみなします。

※ ランチョンセミナー申し込みの方には各会場前でランチョン弁当を配布いたします。

6. その他

- 1) クロークは福岡国際会議場1階にて、下記の時間行います。貴重品や傘のお預かりはできません。
1日目 8:00～17:30 2日目 8:00～17:30
- 2) 緊急時は係員の指示に従って落ち着いて行動してください。
- 3) ご不明な点は総合案内または係員までおたずねください。係員はオレンジ色のベストを着用しております。

一般演題発表者の皆様へ

発表の詳細は、『演題登録システム』にログインし、マイページの「口演発表の皆様へ」・「示説発表の皆様へ」(PDF)を必ず確認してください。

【口演】発表の皆様へ

・発表受付

口演発表者は、発表当日、一般受付終了後、福岡国際会議場 2F「PC 受付」におこしてください。

①発表用パワーポイントは、福岡国際会議場 2F「PC 受付」にて受付および動作確認を行います。

1) 受付時間：発表時間の1時間前まで。早めにお済ませください。

※9月9日(水)9:00からの発表群(第26群、第27群、第31群、第35群、第38群、第42群)の方は、前日、もしくは8時30分までに受付をお済ませください。

2) 記憶媒体：USBもしくはCD-R、CD-RWに保存し、持参してください。その場で動作確認をします。パワーポイントの保存名は発表群席と名前としてください。

例) 1群1席の発表者の場合 ⇒ 1-1-学会太郎.pptx

発表時のパワーポイントの操作は、原則として発表者が行ってください。

②座長と発表についての打合せを行いますので、下記の通り集合してください。

1) 発表群の開始時間30分前に福岡国際会議場 5F「発表者・座長打ち合わせ室」に集合してください。

・発表について

発表時間は1演題10分間です。発表原稿はこの時間を超過しないよう準備してください。

質疑応答は群の発表演題がすべて終了しだい行いますので、会場から退出しないようお願いいたします。抄録集の内容を訂正する場合は、自分の持ち時間内に訂正してください。

【示説】発表の皆様へ

・発表受付

示説発表者は、一般受付終了後、福岡国際会議場 5F「示説発表者受付」にて必ず受付を行ってください。

発表時間の10分前に発表ポスター前に集合してください。進行係との打合せはありません。

・発表について

発表者は、発表群開始から60分間は発表ポスターの前に待機してください。

発表形態は質疑応答が基本です。参加者の質問や意見等に対応できる準備をしてください。

プレゼンテーションは行いません。

・掲示と撤去について

指定された区画に各自で掲示・撤去してください。

掲示・撤去時間は両日発表者とも以下の通りです。(※撤去時間前の撤去は原則として禁止いたします)

9月8日(火) 第18群～第21群 掲示準備 9:30～10:00 撤去 12:10～12:40

9月8日(火) 第22群～第25群 掲示準備 13:00～13:30 撤去 15:30～16:00

9月9日(水) 第46群～第49群 掲示準備 9:30～10:00 撤去 14:30～15:00

・事務局準備物について

事務局で以下のものを会場内に用意しています。

ボード型掲示板：1演題毎 縦210cm×横90cm

(うち、左上20cm×20cmのスペースに発表群席表示を事務局で用意します。)

物 品：押しピン、セロテープ、マジック、のり、はさみ

口演発表の座長の皆様へ

1. 口演発表座長受付

- 1) 福岡国際会議場 1F「講演等座長受付」で受付を行って下さい。
- 2) 発表者と発表についての打合せを行いますので、下記の通り集合してください。
 - ・発表群の開始時間 30 分前に福岡国際会議場 5F「発表者・座長打ち合わせ室」に集合してください。

講演者の皆様へ

《特別講演・教育講演・シンポジウム・交流集会》

【講演】発表の皆様へ

1. 講演受付

- 1) 発表者は、発表当日、福岡国際会議場 1F「講演者受付」までおこしてください。
- 2) 発表用パワーポイントの試写等確認が必要な方は、1 時間前までに、福岡国際会議場 2F「PC 受付」にてご相談ください。
- 3) 講演 30 分前には、控室において下さい（講演により打合せ時間が異なる場合があります）。
座長・司会と打合せを行います。
- 4) 控室・会場へは担当がご案内します。

講演座長・司会の皆様へ

《特別講演・教育講演・シンポジウム・交流集会》

1. 講演座長受付

- 1) 福岡国際会議場 1F「講演等座長受付」で受付を行って下さい。
- 2) 講演 30 分前には、控室において下さい（講演により打合せ時間が異なる場合があります）。
講演者の方と打合せを行います。
- 3) 控室・会場へは担当がご案内します。

第46回日本看護学会—看護管理—学術集会

日本看護学会

学 会 長 坂 本 す が

日本看護学会—看護管理—学術集会

会 長 花 岡 夏 子

福岡県看護協会準備委員会

委 員 長 中 川 朋 子

副 委 員 長 永 嶋 由 理 子

委 員 飯 野 英 親

江 田 柳 子

清 成 道 子

黒 岩 悦 子

玉 井 照 美

筒 井 玲 子

野 田 順 子

原 田 博 子

(五十音順)

福岡県看護協会抄録選考委員会

委	員	長	飯	野	英	親			
委		員	青	木	久	恵	濱	元	淳
			穴	井	こ	ずえ	原	田	喜代子
			有	光	信	恵	原	田	博子
			伊	藤	直	子	樋	口	靖子
			井	上	久	子	平	野	礼子
			岩	本	テ	ルヨ	洲	野	由夏
			大	池	美	也子	松	永	由紀子
			小	田	日	出子	松	本	裕子
			梶	原	江	美	宮	林	郁子
			加	藤	法	子	山	勢	善江
			過	能	清	美	吉	川	千鶴子
			清	成	道	子	吉	國	佐和子
			窪	田	恵	子	吉	武	美佐子
			黒	川	雅	代			
			崎	田	幾	子			
			正	野	逸	子			
			田	邊	郁	子			
			玉	井	照	美			
			辻		慶	子			
			筒	井	玲	子			
			堤		タ	マエ			
			中	川	朋	子			
			中	島	成	子			
			永	嶋	由	理子			
			野	田	順	子			
			能	登	裕	子			

(五十音順)

協賛企業

アイホン株式会社
有限会社青葉
株式会社アクシス
アシックスジャパン株式会社
株式会社アドヴァンスト・イン
フォーメーション・デザイン
アルケア株式会社
泉株式会社
株式会社エスエフシー新潟
エルゼビア・ジャパン株式会社
大塚製薬株式会社
株式会社岡村製作所
オムロンコーリン株式会社
株式会社学研メディカルサポート
株式会社九州神陵文庫
株式会社クマノミ出版
サラヤ株式会社
株式会社ジェイ・エス
スキルインフォメーションズ株式会社
住友理工株式会社
株式会社スミロン
株式会社ダスキン
株式会社ダスキンヘルスケア
テルモ株式会社

東洋羽毛九州販売株式会社
株式会社ニシウラ
ニプロ株式会社
一般社団法人日本医療機器テクノ
ロジー協会
株式会社日本看護協会出版会
日本光電九州株式会社
株式会社ニホン・ミック
株式会社パオンメディカル
パラマウントベッド株式会社
フォーク株式会社
株式会社ホギメディカル
松吉医科器械株式会社
マドンナ株式会社
都ユニリース株式会社
株式会社メディカ出版
株式会社メルシー
株式会社ヤマト
ユニ・チャーム株式会社
ユニ・チャーム メンリッケ株式会社
株式会社HプラスBライフサイエンス
TOTO 株式会社
Vernacare Limited.
株式会社VIP グローバル

(五十音順・アルファベット順)

平成27年8月17日

本学術集会を開催するにあたり、上記の団体・企業よりご協賛いただきました。
ここに記し感謝の意を表します。

第46回日本看護学会—看護管理—学術集会

会長 花岡 夏子

日本看護学会学術集会優秀発表賞について

日本看護学会では、平成24年度（第43回）より実践にねざした優れた研究を奨励し、看護の質向上のための価値ある研究活動を推進するため、当該年度の日本看護学会学術集会において発表された演題のうち、特に優れた発表演題を「優秀発表賞」として表彰しています。

看護実践の質向上のために求められる研究の視点があること、内容に一貫性があり、研究の成果が見られること、優れた発表であること等が表彰の対象となり、3次の審査を経て決定されます。

演題内容は、日本看護協会ホームページ、会員ダイレクトからご覧になれます。

第45回（平成26年度）受賞者一覧

領域	筆頭研究者	所属	表題
慢性期看護	安藤亜希子	北海道大学病院	広汎性発達障害をもつ若年性乳がん患者への交換日記を用いたパートナーシップの形成
慢性期看護	秦 智香子	松江赤十字病院	頭頸部癌集学的治療を受けた患者の胃瘻からの栄養経験後の経口摂取再開に向けた思い
看護教育	土肥 美子	京都光華女子大学	新卒者や学生を支援する教育指導者が求める学習方法—学習ニーズ別の検討—
看護管理	吉田 直江	兵庫県立尼崎病院	看護師長とリエゾンナースの協働による病棟ナースのストレスマネジメント支援
在宅看護	多地 綾乃	金沢大学附属病院	造血幹細胞移植患者の退院後の味覚障害における困難と対処行動
在宅看護	永松 仁美	久留米大学医療センター	ターミナル期の患児とその家族が望む在宅療養へのアプローチ
精神看護	亀岡 美紀	埼玉医科大学総合医療センター	産科スタッフが行う相談外来での困難と対処方法の実態
急性期看護	長岐 美里	秋田赤十字病院	MFICU入院中の切迫早産妊婦と妊婦を支える夫に対する援助の検討
急性期看護	鈴木 真美	東京都立墨東病院	介助補助手袋を使用した背抜きの効果 循環動態不良の救命救急センター患者に使用して



日本看護学会論文集 優秀論文について

日本看護学会優秀論文は、日本看護学会の目的とする「実践にねざした研究を推進する」ために平成21年度に創設されました。実践研究の成果が、多くの職場での看護の質改善に寄与する内容であり、研究方法や成果に独創性があるもので、内容に一貫性があり、これからの研究発表の模範となる論文が3次の審査を経て決定し、表彰されます。優秀論文は、日本看護協会ホームページ、会員ダイレクトからご覧になれます。

第45回（平成26年度）受賞者一覧

領域	筆頭研究者	所属	表題
慢性期看護	泉 孝子	かみいち総合病院	精神科病棟で癌の終末期患者を看取る看護師の心理の構造
在宅看護	片山 圭子	厚生連栃尾郷診療所	医療ニーズのある利用者を介護する主介護者の介護負担および在宅介護継続の要因に関する研究
在宅看護	多地 綾乃	金沢大学附属病院	造血幹細胞移植患者の退院後の味覚障害における困難と対処行動
精神看護	加藤 幸恵	特定医療法人社団聖泉会聖十字病院	認知症病棟における行動制限最小化に向けて—看護師の意識調査から見えてきたもの—



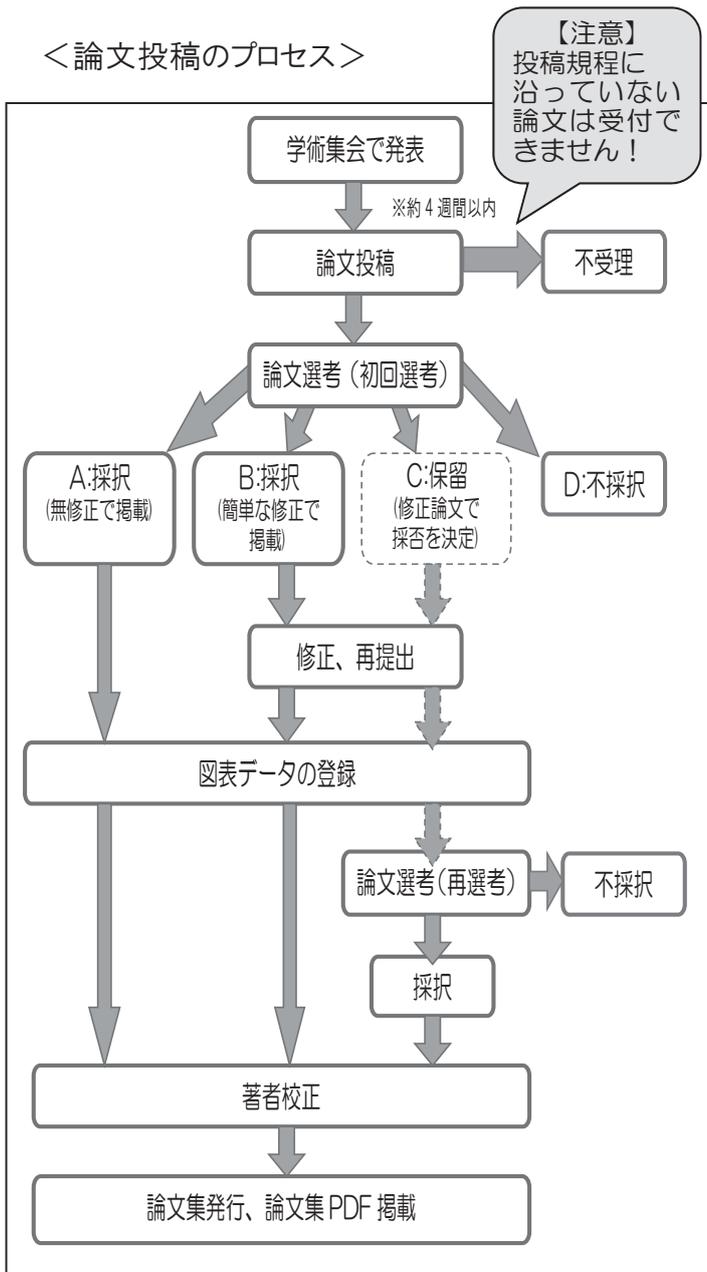
論文集投稿のご案内

日本看護学会では、学術集会終了後に発表演題を論文としてまとめ、当該年度の論文集に投稿することができます。投稿された論文は、選考を経て掲載が決まります。

論文は日本看護学会論文集投稿規程をよく確認し、作成してください。投稿規程が守られていない場合は、投稿いただいても受け付けることができませんので、ご注意ください。

I. 論文投稿のプロセス

<論文投稿のプロセス>



1) 論文投稿

- ◆ 学術集会での発表後、日本看護学会論文集投稿規程にのっとり論文原稿を作成
- ◆ 論文投稿期限（発表約 4 週間後）までに本会公式ホームページの演題登録・選考管理システムのマイページより投稿

※ 論文投稿期限は各領域で異なるため注意する

2) 論文選考(初回選考)

- ◆ 論文選考委員会による初回選考を実施
- ◆ 選考結果は以下の 4 通りで、マイページにて公開

<選考結果> A：採択（無修正で掲載）
B：採択（簡単な修正で掲載）
C：保留（修正論文で採否を決定）
D：不採択

3) 修正論文の再提出(初回選考結果:B・C)

- ◆ 選考委員コメントに沿って論文原稿を修正
 - ◆ 「修正原稿」と「コメントに対する回答書」を修正受付期間内にマイページより再提出
- ※ 再提出がない場合は不採択となる

4) 図表データの登録(初回選考結果:A・B・C)

- ◆ 原稿に添付した図表の元データ（例：Excel ファイル）を 1 点ずつマイページに登録

5) 論文再選考(初回選考結果:C)

- ◆ 論文選考委員会による再選考を実施
- ◆ 選考結果は「採択」または「不採択」で、マイページにて公開

6) 著者校正

- ◆ 「採択」論文の著者自身による校正を実施
- ◆ 著者校正は 1 回のみ、その後は修正不可

7) 論文集の発行、PDF を本会 HP へ掲載

Ⅱ. 論文集投稿規程と各項目についての注意点

(平成27年4月1日一部改正版)

1. 投稿者の資格

原則として公益社団法人日本看護協会会員に限る。ただし日本看護協会及び都道府県看護協会の看護職以外の調査、研究を担当する職員はこの限りではない。看護職以外で会員と共同研究を行った者は、共同研究者として投稿原稿に記名できる。

◆注意点◆

- ◆ 研究を行った時の勤務先を退職している場合、現在も日本看護協会会員であれば記名できます。
- ◆ 共同研究者とは、実際に研究を行い、著者と同等レベルに内容を把握している人です。

2. 対象とする原稿

次の項目をすべて満たしているものを対象とする。

- 1) 第46回日本看護学会学術集会で発表した研究であること。
- 2) 倫理的に配慮された研究内容であり、その旨が本文中に明記されていること。
- 3) 他の学会および研究誌（商業誌・所属施設の研究集録等を含む）、本学会の他領域へ投稿していないこと。
※倫理的配慮については、第46回日本看護学会実施要綱（以下、実施要綱）4-5ページ参照

◆注意点◆

- ◆ 日本看護学会では、紙、デジタル媒体、インターネット等の媒体を問わず、すでに公表された、または他学会や本学会の他領域等へ投稿中の論文は重複投稿とみなし、投稿を受けません。
- ◆ 学位論文の一部の場合、その旨を本文中に明記してください。

3. 投稿手続き

本規程について了解のうえ、本会ホームページより所定の手順にて受付期間内に投稿手続きを行う。

◆注意点◆

- ◆ 本会公式ホームページの演題登録・選考管理システムのマイページより投稿手続きを行います。
- ◆ マイページのログインIDおよびパスワードは演題登録時と同じものをご利用ください。
※マイページログイン URL: <https://www.pac-sys.net/jna/>
- ◆ 論文投稿期限は領域ごとに異なります。期限後の投稿は受けませんのでご注意ください。

4. 投稿投稿の受付および採否

- 1) 上記3の手続きを経て、本規程を遵守した論文を受付ける。
- 2) 論文の採否は選考を経て学会委員会が決定する。
- 3) 学会委員会から修正を求められた場合は、指定期日までに再提出する。

◆注意点◆

- ◆ 論文集投稿規程を守っていない論文は投稿を受けません。
- ◆ 抄録選考の際の修正指示（発表時修正も含む）は必ず修正して投稿してください。
- ◆ 初回選考後、指定期日までに修正原稿の再提出がない場合は不採択となります。

5. 原稿の書式設定

- 1) 様式を本会ホームページよりダウンロードして原稿を作成する。
※A4判に横書き、1行の文字数は35字、1ページの行数は30行、1ページ1,050字とする。
- 2) 本文の文字サイズは10.5ポイントとし、和文フォントは明朝体で全角、英文およびアラビア数字は半角とする。
- 3) 表紙・本文に氏名、所属名を記載しない。

◆注意点◆

- ◆ 論文原稿は1段組みで作成し、原稿は1種類のみ投稿します(抄録原稿とは様式が異なります)。
- ◆ 投稿された論文原稿をもとに選考を行いますので、氏名、所属名はどこにも記載しないでください。
- ◆ ダウンロードした原稿様式はすべて書式設定済みですので、設定を変更しないでください。

6. 原稿執筆要領

- 1) 表紙には、「タイトル」・「キーワード」・「図表の添付枚数」を記載する。
 - (1) タイトルは簡潔明瞭に論文内容を表すものとする。
 - (2) キーワードは5つ以内とする。

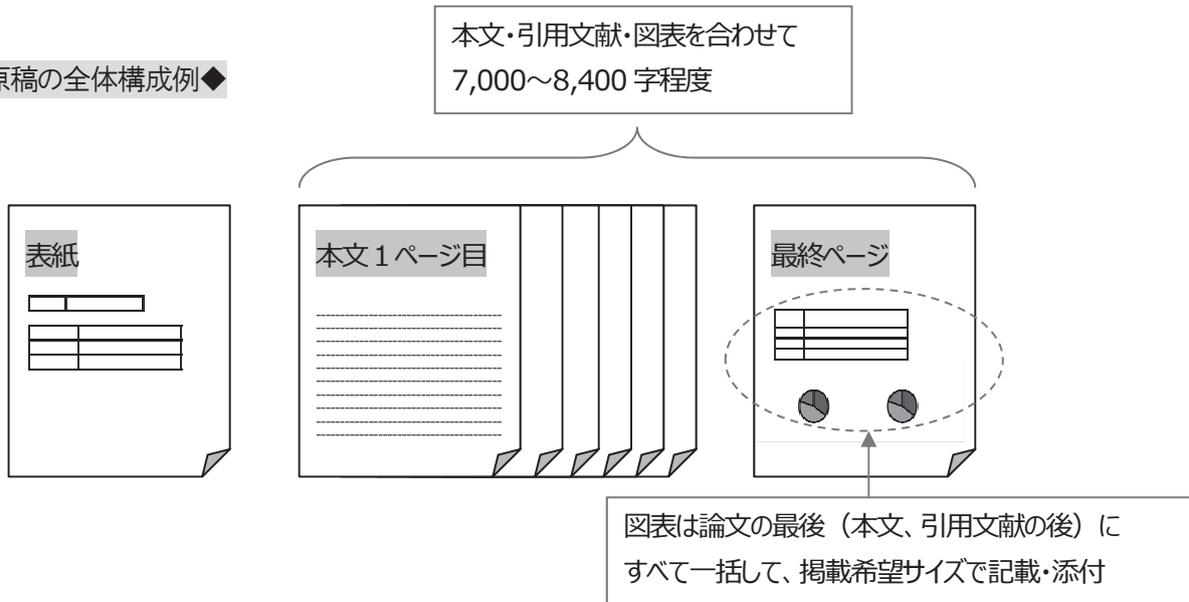
◆表紙記載例◆

領域名 (ヘルスプロモーション、慢性期看護など) を記載		【！注意！】 氏名、所属名は書かない
領域名	精神看護	
タイトル	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	タイトル (あればサブタイトルも) を記載
キーワード	××××、●●●、□□□、◆◆◆◆、☆☆☆☆	キーワード (5つ以内) を記載
図表の添付枚数	図 1 枚 / 表 2 枚	図表の添付枚数を記載 図1つにつき1枚とカウント 例) 図5つ = 図5枚

2) 本文

- (1) 文字数は本文・引用文献・図表を合わせ、スペースを含み7,000～8,400字程度 (A4判 横書き 35文字×30行にて6枚半～8枚程度) とする。
- (2) 本文・引用文献は、文中の空白を含めて1行につき35文字とカウントする。
- (3) 原稿は和文・新かなづかいを用い、外国語はカタカナ表記、外国人名や日本語訳が定着していない学術用語等は原語にて表記する。
- (4) 原稿は、「はじめに」・「目的」・「方法」・「倫理的配慮」・「結果」・「考察」・「結論」の項目別にまとめ、各項目にはローマ数字で番号をつける。また「はじめに」では、先行文献を検討した旨を明記し、倫理的配慮については実施要綱の4-5ページを参考にする。
- (5) 図表等の挿入希望位置を本文中 () にて指定する。 <記載例> ……である (表1)。

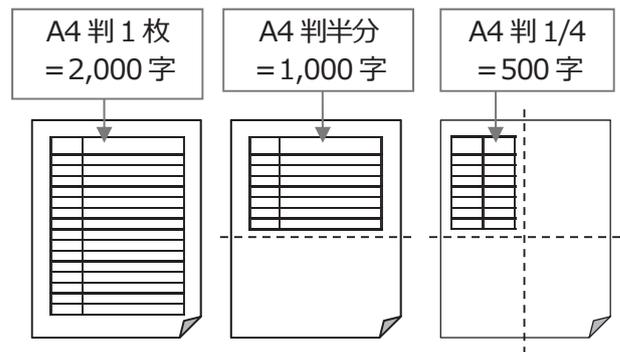
◆原稿の全体構成例◆



3) 図表等

- (1) 本文・引用文献の後に、一括して掲載希望サイズで提出する。
- (2) 図表の大きさと文字数換算の割合は、原則として下記の3通りとする。
 図表 A4判用紙大 : 2,000字
 A4判用紙半分 : 1,000字
 A4判1/4 : 500字
- (3) それぞれ通し番号とタイトルをつける。
 表番号と表タイトルは表の上、
 図番号と図タイトルは図の下に入れ、
 センタリングする。
- (4) 図表等は必要最小限の枚数に留める。ただし、図表等が占める割合は、論述部分の文字数の半分以下とする。
- (5) 白黒印刷で判別できる明瞭なものとする。

◆図表の文字数換算例◆



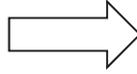
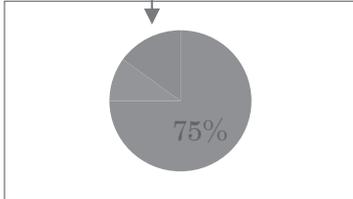
◆論文における図表の作り方のルール◆

1. 図表タイトル
 - ・図表それぞれに通し番号とタイトルをつける
 - ・表タイトルは表の上に、図タイトルは図の下につける
 - ・表の各列、図表の座標軸には項目名（見出し）をつける
 - ・タイトルは内容が簡潔にわかるようにする
 - ・図表タイトルはセンタリングまたは左寄せにする
2. 単位
 - ・人や%など、単位をつける
 - ・標本数（n = ●）をつける
3. 体裁
 - ・説明が必要な場合は、図表下に注釈をつける
 - ・文字や単位が読みとれ、わかりやすい大きさに作る
 - ・1つの図表に内容を盛り込みすぎない
 - ・表は見出し行の上下にコギ罫線を引き、データと区別する
 - ・表はタテ罫線を極力使わず、スペースで項目を区分する
4. その他
 - ・本文とは一括して作成し、本文中に挿入希望位置を指定する

(出典 日本看護協会編：看護実践研究・学会発表のポイントQ&A 下巻 論文作成から投稿へ、日本看護協会出版会、p. 34, 2013)

◆不適切な作図例◆

- ①図の番号、タイトルがない
- ②凡例またはデータラベルがない、標本数(n=●)がない
- ③枠線・境界線がない、数値が判別できない
- ④各項目の色・濃淡が似ていて判別できない
- ⑤カラーで作成しており、白黒印刷にすると判別できない



◆適切な作図例◆

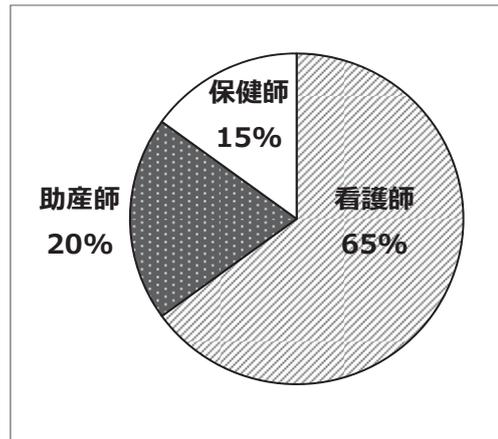


図1 参加者の職種 (n=●●)

◆注意点◆

- ◆ 論文の文字数(7,000~8,400字程度)には、本文だけでなく引用文献、図表も含まれます。図表がある場合、文字数換算を参考のうえ、規程の文字数に収まるよう原稿を作成してください。
- ◆ 本文中の大項目から小項目の番号の振り方は、Ⅰ→1→1)→(1)→①の順としてください。
- ◆ 演題発表の際のパワーポイント資料をそのまま貼付けないでください。
- ◆ 論文選考および論文集への掲載は白黒印刷で行うため、図表はカラーで作成しないでください。
- ◆ 論文掲載が決まった場合、図表については原稿に添付されたサイズ・体裁で掲載します。内容が判別できるか(文字・数字・枠線等がぼやけていないか、小さすぎないか等)を必ず確認してください。

4) 引用文献

- (1) 引用文献は引用順に本文の引用箇所の肩に¹⁾ ²⁾と番号をつけ、本文原稿の最後の一括して引用番号順に記載する。
- (2) 引用文献は次のように記載する。 ※次ページ「文献記載方法および記載例」参照
- (3) 共著者は3名まで表記し、それ以外は他とする。

◆注意点◆

- ◆ 引用文献は、文章そのものを引用する場合と、論文全体の結果を引用する場合があります。どちらも引用文献として扱います。文献の内容を要約した場合も引用文献として記載してください。
- ◆ 本文の最後の引用文献一覧は、引用文献のみを記載してください。
- ◆ 本文中の引用箇所の番号と本文の最後の引用文献一覧の番号は一致させてください。
- ◆ インターネット上でダウンロード可能で、書籍としても発行されている文献の場合、発行された書籍を原典(引用元)として引用してください。
- ◆ 孫引き(他の本に引用されている部分を、原典を調べないでそのまま引用すること)はせず、必ず原典を引用してください。

◆文献記載方法および記載例◆

【雑誌掲載論文】

- ◆ 著者名：表題名, 雑誌名, 巻(号), 頁, 発行年(西暦年次)。

例) 学会花子：看護研究の〇〇〇について, 〇〇看護, 25(11), p. 35-38, 2008.

例) 学会花子, 日本協子, 清瀬看子, 他：看護の〇〇〇研究, 第〇回日本看護学会論文集(看護管理), p. 5-38, 20△△.

Vol.25 No.11 = 第25巻11号は
25(11)と記載します

共著者名は3名まで記載し、
それ以上は「他」とします

【単行本】

- ◆ 著者名：書名(版), 発行所, 頁, 発行年(西暦年次),

例) 学会花子：看護実践研究の手引き(3), 〇〇看護出版, p. 145-148, 2006.

- ◆ 著者名：表題名, 編者名, 書名(版), 発行所, 頁, 発行年(西暦年次)。

例) 学会花子：研究における〇〇, 日本協子編, 看護実践研究(2), △△出版, p. 76-88, 2007.

例) 前掲書1), p. 100-115.

引用ページを記載し、「p.」を付けます

すでに掲出した文献を再度引用する場合は「前掲書」とします

【翻訳書】

- ◆ 原著者名：書名(版), 発行年, 訳者名, 書名(版), 発行所, 頁, 発行年(西暦年次)。

例) Alice Williams : Nursing Research(4), 2001, 学会花子訳, 看護研究(4), 〇〇看護出版, p. 298-280, 2003.

【電子文献】

- ◆ 著者名：表題名, 雑誌名, 巻(号), 頁, 発行年(西暦年次), アクセス年月日, URL.

- ◆ 発行機関名(調査/発行年次), 表題, アクセス年月日, URL.

例) 文部科学省, 厚生労働省(2014), 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針, 2015年4月10日閲覧,

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf>.

※公的機関から提供される情報(統計、法令等)、電子ジャーナルのみを対象とする

7. 諸注意

- 1) 投稿論文が他誌および本学会の他領域における論文集との重複投稿であると学会委員会が判断した場合には、いかなる時期にあっても受付および採択を取り消す。これに伴い発生した論文集の訂正等に要する費用は原則として投稿者が負担する。
- 2) 尺度等の使用許諾、図表等の転載許諾、商標登録物の使用許諾は著者があらかじめ得ておくこと。また、原則として薬品や検査器具等は一般名称を用い()内に商品名と登録商標の場合は®を記載する。
- 3) 論文集に掲載の所属施設名、氏名は論文投稿時の表記どおりとし、共同研究者は全員の氏名を掲載順に記載する。

◆注意点◆

- ◆ 既存の尺度等を使用する際、開発者からの許諾が必要かどうかをあらかじめ確認し、必要な手続きを行ってください。一部改変して使用する場合は開発者からの許諾を必ず得てください。また、行った手続きおよび出典を本文中に明記してください。
- ◆ 他の文献やインターネットから写真や図表などを転載する場合、必ず著者から転載許諾を得てください。また、本文中に出典を明記してください。
- ◆ 他の文献等に掲載されている図表等を自分で打ち直して作成した場合も、内容が同じであれば転載となります。
- ◆ 薬品や検査器具等の商品名を示す場合は、企業からの使用および公表の許諾を得てください。
- ◆ 実験研究では、同じ条件下で再実験した際に同じ結果が得られること(再現性)が重要です。そのため、使用した薬品や検査器具等の商品名または仕様等を記載してください。

Ⅲ. 研究における倫理的配慮と記述方法

(平成 27 年度日本看護学会実施要綱より抜粋)

1. 先行文献を調べて活用していますか？

すでに研究結果が出ているテーマを繰り返して研究することは倫理的に問題があると考えられます。そのため、研究課題とその背景にあるものを先行文献から調べた上で研究のオリジナリティや価値、位置づけを明らかにし発表の意義を明確にすることが大切です。文献検討の結果を「はじめに」・「考察」で適切に引用しましょう。「日本看護協会ホームページ>会員ダイレクト」には文献データベース「最新看護索引 Web」があり、『日本看護学会論文集』（第 42 回より）の全文 PDF も公開されています。ぜひ活用してください。

2. 研究フィールドや研究対象者を特定されないよう配慮していますか？

「当院」「当病棟」等の表現では、研究者の所属を見ることから研究フィールドが特定され、固有名詞を使用していることと同じです。そのため、「A 病院」のように匿名化した表記とします。研究対象者へのプライバシーの配慮として、抄録の記述内容で研究対象者が特定できないようにします。固有名詞（当院・当病棟も含む）・写真等を掲載する場合は、研究結果を示すためにどうしても必要な場合のみとし、掲載することで研究対象者が特定できないよう十分配慮し、掲載の承諾を得られた旨を明記してください。

3. 研究対象者の個人情報保護していますか？

データの解釈に必要な研究対象者の情報は必要ですが、不必要な個人情報を公表しないように配慮します。例えば、入院および退院の情報が必要な時は、年月日ではなく入院期間を記載するなどの配慮が必要です。また、結果に直接関与しない個人情報は記載しません。個人情報の取扱いは、個人情報保護法、「看護研究における倫理指針」（日本看護協会、2004 年）、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」（厚生労働省、2010 年）、「看護者の倫理綱領」（日本看護協会、2003 年）、「臨床研究に関する倫理指針」（厚生労働省、2008 年）および所属施設の規定に従ってください。

4. 研究対象者への説明と自由意思による同意を得たことを記載していますか？

研究の目的、方法、期待される結果と対象者にとっての研究協力に関する利益、不利益を研究対象者へ伝えた上で、研究の実施と公表についてどのように同意を得たか、具体的なプロセスを明確に記載する必要があります。またその際、研究協力への同意が強制されることなく、自由に判断できた事実を記載する必要があります。学生を対象とした研究の場合も、患者を対象としたときと同様の配慮が求められます。たとえば入院中に病棟の看護ケアの質評価を無記名で依頼を行っても、入院中の患者が自由意思で調査への参加を決定したとは判断しにくいいため、退院時にこの調査を依頼する、などの工夫が必要になります。あるいは教員が学生に調査を依頼する場合も授業中に行ったり、担当科目の教員が調査依頼を行うことは、自由意思を損なうことにつながりかねないため、十分に配慮し、またどのような配慮を行ったかを具体的に明記する必要があります。

研究への同意に適切に判断ができない状態にあると考えられる対象者の場合は、代理人もしくは代理人が存在しない場合には病院の倫理委員会等で承認を得た事実を記載する必要があります。また研究依頼時には適切に判断ができない状態であっても、回復とともに判断できる状態になれば、その時点で研究協力の同意を対象者から再度得る必要があります。

看護師へのインタビューを行った研究において、自分たちが看護ケアを行った患者に関する情報を詳細に述べるような場合には、その患者にも研究の同意を得ておく必要があります。しかし何らかの理由でその患

者から同意が得られない場合には、家族もしくは病院の倫理委員会等で承認されることが必要です。また過去のデータを分析する場合にも、可能なかぎり研究対象者からの同意を得ますが、それが困難な場合には病院の倫理委員会等での同意が必要となります。

5. 倫理委員会での承認を受けたことを記載していますか？

研究に際しては、一般的に所属施設の倫理委員会の承認を得て実施することが求められています。特に、人間や動物を対象とした研究、研究施設の内部データを使用する等の倫理的な配慮が重要となる研究を行う場合には、倫理委員会等（倫理委員会がない場合にはそれに相当する複数の第三者による組織的理解を得ること）で承認を受けていることを明記してください。研究の実施だけでなく、結果の公表（発表）に関しても、研究対象者および研究施設の承諾が必要です。倫理委員会の名称は匿名とはせず実名を用いて正確に表記しますが、倫理委員会の実名を表記することで研究対象者が特定される可能性がある場合には、『所属施設の倫理委員会』等の表記としてください。

6. 研究への参加によって対象者に負担や不利益がないように配慮したことを記載していますか？

倫理委員会での承認を受けたことの記載のみでなく、対象者の負担や不利益を避けるために配慮したことを記載します。研究協力依頼の内容と方法、予測されるリスクへの対策（中止基準の設定等）、研究データの取扱い、質問紙の回収方法等、研究結果の公表等、研究の全過程においてどのような倫理的配慮を実施したかを簡潔に記載する必要があります。

7. 著作権等の侵害がないように配慮していますか？

文献から図・表や本文を引用する場合は、著作権に配慮し、転載許諾を得た上で出典（文献）を明記してください。既存の尺度を使用する場合は、必要に応じて尺度の作成者から許諾を得たことまたは出典（文献）を明記し、作成者から許諾を得たことを必ず明記した上で尺度を改変して使用してください。また、原則として薬品や検査器具等は一般名称を用い（ ）内に商品名と登録商標の場合は®を記載してください。

8. 個人情報の取り扱いについて

参加登録、演題登録により、本会へ提出いただいた個人情報は、受付、各種通知、抄録集の編集および発送、問い合わせ、意向調査等に利用します。ただし、学術集会運営において都道府県のコンベンションセンターの助成金申請に必要な場合に限り、参加登録費払込時にご登録いただいた氏名、都道府県名、所属施設名の個人情報を提供することがあります。また、抄録集・参加券・論文集の校正および発送にあたり、登録時にご提出いただいた氏名、都道府県名、所属施設名、連絡先を契約した制作会社に提供いたします。個人情報の第三者への提供停止等ご希望の場合は、本会学会企画課へお問い合わせください。

9. 著作財産権の譲渡について

日本看護学会抄録集および論文集に掲載された著作物（電子媒体への変換による利用も含む）の複製権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は本学会に譲渡されたものとします。著作者自身のこれらの権利を拘束するものではありませんが、再利用する場合は事前に本会学会企画課までご連絡ください。

第46回日本看護学会 論文投稿チェックリスト

* 論文投稿の際の参考としてご活用ください。提出の必要はありません。

☑欄	チェック項目
【論文について】	
<input type="checkbox"/>	1. 論文の内容は他の学会や他誌、本学会の他領域に公表あるいは投稿されていないものですか
<input type="checkbox"/>	2. 学位論文の一部である場合、その旨を本文中に明記していますか
<input type="checkbox"/>	3. 本文・文献・図表を含めて7,000字～8,400字(6枚半～8枚程度)にまとめていますか
<input type="checkbox"/>	4. 本文はA4判用紙に1行35字、1ページ30行で作成していますか ※抄録原稿とは違い2段組みではありませんのでご注意ください
<input type="checkbox"/>	5. 本文の文字サイズは10.5ポイント、和文フォントは明朝体で全角文字、英文・アラビア数字は半角文字となっていますか
<input type="checkbox"/>	6. 本文は「はじめに」・「目的」・「方法」・「倫理的配慮」・「結果」・「考察」・「結論」の項目別にまとめ、各項目にはローマ数字で番号をつけていますか
<input type="checkbox"/>	7. 表紙や本文に氏名、所属名を記載していませんか ※投稿された原稿をもとに選考を行うため、氏名、所属は記載しないでください
<input type="checkbox"/>	8. 図表等は、本文・引用文献の後に一括して、掲載希望サイズで添付していますか
<input type="checkbox"/>	9. 図表等の体裁は整っていますか ※図表ごとに通し番号とタイトルを付ける、タイトル位置(図は下、表は上)、単位・標本数の表記など
<input type="checkbox"/>	10. 図表等は、白黒印刷で判別できる明瞭なものですか
<input type="checkbox"/>	11. 文献の記載方法は投稿規程に従っていますか
<input type="checkbox"/>	12. 本文中の引用箇所と本文の最後の引用文献一覧の番号および内容は一致していますか
<input type="checkbox"/>	13. 文献の情報は原典に相違ありませんか
<input type="checkbox"/>	14. マイページより、登録済みの論文原稿ファイルを確認しましたか
【倫理的配慮とその記述について】	
<input type="checkbox"/>	15. 実施要綱にある「研究における倫理的配慮とその記述方法」は熟読しましたか
<input type="checkbox"/>	16. 研究対象者へ研究内容および研究結果の公表等について説明し、承諾が得られていますか
<input type="checkbox"/>	17. 研究対象者が特定できないよう配慮していますか
<input type="checkbox"/>	18. 固有名詞(当院・当病棟を含む)を使っていませんか
<input type="checkbox"/>	19. 研究への参加によって、対象者に不利益や負担が生じないよう配慮していますか
<input type="checkbox"/>	20. 倫理委員会等の倫理審査を受け、承認を得ていますか
<input type="checkbox"/>	21. 他の文献から図表や本文を引用する場合、著作権に配慮し出典を明記していますか
<input type="checkbox"/>	22. 既存の尺度等の使用、図表や写真等の転載、商標登録物の使用について、著作権者から必要な許諾を得たうえで出典を明記していますか
<input type="checkbox"/>	23. 薬品や検査器具等は、原則として一般名称を用い、()内に商品名と登録商標の場合は®を記載していますか

第 46 回日本看護学会 論文投稿期間

領域	論文投稿期間
看護教育	8月8日(土) ~ 9月3日(木) 22:00
慢性期看護	9月4日(金) ~ 9月30日(水) 22:00
看護管理	9月10日(木) ~ 10月6日(火) 22:00
精神看護	9月20日(日) ~ 10月16日(金) 22:00
急性期看護	10月1日(木) ~ 10月27日(火) 22:00
在宅看護	10月4日(日) ~ 10月30日(金) 22:00
ヘルスプロモーション	11月8日(日) ~ 12月4日(金) 22:00

日本看護学会論文集投稿規程

1. 投稿者の資格

原則として公益社団法人日本看護協会会員に限る。ただし日本看護協会及び都道府県看護協会の看護職以外の調査、研究を担当する職員はこの限りではない。看護職以外で会員と共同研究を行った者は、共同研究者として投稿原稿に記名できる。

2. 対象とする原稿

次の項目をすべて満たしているものを対象とする。

- 1) 第46回日本看護学会学術集会で発表した研究であること。
- 2) 倫理的に配慮された研究内容であり、その旨が本文中に明記されていること。
- 3) 他の学会および研究誌（商業誌・所属施設の研究集録等を含む）、本学会の他領域へ投稿していないこと。
※倫理的配慮については、第46回日本看護学会実施要綱（以下、実施要綱）4-5ページ参照

3. 投稿手続き

本規程について了解のうえ、本会ホームページより所定の手順にて受付期間内に投稿手続きを行う。

4. 投稿の受付および採否

- 1) 上記3の手続きを経て、本規程を遵守した論文を受付ける。
- 2) 論文の採否は選考を経て学会委員会が決定する。
- 3) 学会委員会から修正を求められた場合は、指定期日までに再提出する。

5. 原稿の書式設定

- 1) 様式を本会ホームページよりダウンロードして原稿を作成する。
※A4判に横書き、1行の文字数は35字、1ページの行数は30行、1ページ1,050字とする。
- 2) 本文の文字サイズは10.5ポイントとし、和文フォントは明朝体で全角、英文およびアラビア数字は半角とする。
- 3) 表紙・本文に氏名、所属名を記載しない。

6. 原稿執筆要領

- 1) 表紙には、「タイトル」・「キーワード」・「図表の添付枚数」を記載する。
 - (1) タイトルは簡潔明瞭に論文内容を表すものとする。
 - (2) キーワードは5つ以内とする。
- 2) 本文
 - (1) 文字数は本文・引用文献・図表を合わせ、スペースを含み7,000~8,400字程度（A4判 横書き 35文字×30行にて6枚半~8枚程度）とする。
 - (2) 本文・引用文献は、文中の空白を含めて1行につき35文字とカウントする。
 - (3) 原稿は和文・新かなづかいを用い、外国語はカタカナ表記、外国人名や日本語訳が定着していない学術用語等は原語にて表記する。
 - (4) 原稿は、「はじめに」・「目的」・「方法」・「倫理的配慮」・「結果」・「考察」・「結論」の項目別にまとめ、各項目にはローマ数字で番号をつける。また「はじめに」では、先行文献を検討した旨を明記し、倫理的配慮については実施要綱の4-5ページを参考にすること。
 - (5) 図表等の挿入希望位置を本文中（ ）にて指定する。
<記載例> ……である（表1）。

3) 図表等

- (1) 本文・引用文献の後に、一括して掲載サイズで提出する。
- (2) 図表の大きさと文字数換算の割合は、原則として下記の3通りとする。

図表A4判用紙大 : 2,000字

A4判用紙半分 : 1,000字

A4判1/4 : 500字

- (3) それぞれ通し番号とタイトルをつける。表番号と表タイトルは表の上、図番号と図タイトルは図の下に入れ、センタリングする。
- (4) 図表等は必要最小限の枚数に留める。ただし、図表等が占める割合は、論述部分の文字数の半分以下とする。
- (5) 白黒印刷で判別できる明瞭なものとする。

4) 引用文献

- (1) 引用文献は引用順に本文の引用箇所の肩に¹⁾ ²⁾と番号をつけ、本文原稿の最後一括して引用番号順に記載する。
- (2) 引用文献は次のように記載する。

【雑誌掲載論文】

著者名：表題名，雑誌名，巻（号），頁，発行年（西暦年次）。

【単行本】

著者名：書名（版），発行所，頁，発行年（西暦年次）。

著者名：表題名，編者名，書名（版），発行所，頁，発行年（西暦年次）。

【翻訳書】

原著者名：書名（版），発行年，訳者名，書名（版），発行所，頁，発行年（西暦年次）。

【電子文献】

著者名：表題名，雑誌名，巻（号），頁，発行年（西暦年次），アクセス年月日，URL。

発行機関名（調査/発行年次），表題，アクセス年月日，URL。

※公的機関から提供される情報（統計、法令等）、電子ジャーナルのみを対象とする

- (3) 共著者は3名まで表記し、それ以外は他とする。

7. 著作権

日本看護学会論文集に掲載された著作物（電子媒体への変換による利用も含む）の複製権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は本学会に譲渡されたものとする。著作者自身のこれらの権利を拘束するものではないが、再利用する場合は事前に本学会宛に連絡をする。

8. 論文集の電子化

日本看護学会論文集をより広く会員に活用してもらうため、論文集の冊子を筆頭著者に1冊送付するほか、電子化された論文集を日本看護協会ホームページ（会員ダイレクト）に掲載する。

9. 諸注意

- 1) 投稿論文が他誌および本学会の他領域における論文集との重複投稿であると学会委員会が判断した場合には、いかなる時期にあっても受付および採択を取り消す。これに伴い発生した論文集の訂正等に要する費用は原則として投稿者が負担する。
- 2) 尺度等の使用許諾、図表等の転載許諾、商標登録物の使用許諾は著者があらかじめ得ておくこと。また、原則として薬品や検査器具等は一般名称を用い（ ）内に商品名と登録商標の場合は®を記載する。
- 3) 論文集に掲載の所属施設名、氏名は論文投稿時の表記どおりとし、共同研究者は全員の氏名を掲載順に記載する。

平成27年4月1日一部改正

第47回(平成28年度) 日本看護学会—看護管理—学術集会 ご案内

看護管理
石川県・金沢市

県立音楽堂
ホテル日航金沢
金沢市アートホール

開催期日
平成28年9月27日(火)~28日(水)



最新情報は日本看護学会ホームページをご覧ください

<http://www.nurse.or.jp/nursing/education/gakkai/index.html>



第 47 回（平成 28 年度）日本看護学会 学術集会 開催予定

領域	開催地	会場	開催期日
急性期看護	沖縄県・宜野湾市	沖縄コンベンションセンター	平成 28 年 7 月 15 日(金)～16 日(土)
在宅看護	高知県・高知市	高知市文化プラザ かるぼーと	平成 28 年 7 月 22 日(金)～23 日(土)
看護教育	滋賀県・大津市	大津プリンスホテル	平成 28 年 8 月 4 日(木)～5 日(金)
精神看護	青森県・青森市	リンクステーション ホール青森	平成 28 年 9 月 15 日(木)～16 日(金)
看護管理	石川県・金沢市	県立音楽堂 ホテル日航金沢 金沢市アートホール	平成 28 年 9 月 27 日(火)～28 日(水)
慢性期看護	鳥取県・米子市	米子コンベンション センター 米子市文化ホール	平成 28 年 11 月 10 日(木)～11 日(金)
ヘルスプロモーション	三重県・津市	三重県総合文化 センター	平成 28 年 11 月 17 日(木)～18 日(金)



第46回日本看護学会－看護管理－学術集会
抄録集

2015年8月17日

編集・発行 日本看護学会 公益社団法人 日本看護協会看護研修学校
教育研究部 学会企画課
〒204-0024 東京都清瀬市梅園 1-2-3
TEL 042-492-9120

制作・印刷 株式会社エデュプレス
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-4-10
アイセ岩本町ビル 6F
TEL 03-3862-0155 FAX 03-3862-0156

●本書の一部または全部を許可なく複写・複製することは、著作権の侵害になりますので
ご注意ください。